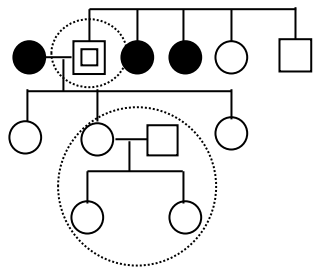


課題分析シート

【基本情報に関する項目】

1	受付年月日	令和 6 年 1 月 ○日	受付対応者	A 介護支援専門員
	受付方法	B 病院からの退院連絡		
	居宅サービス計画作成等の状況	(初回)・初回以外)		
	氏名： 福祉 太郎 様	性別：男	生年月日：S10 年 ○月 ○日 (90 歳)	
	住所： C 市 D 町 1-1-1	電話番号：000-000-0000		
	家族等の状況	 ひとり暮らし。長女 (65 歳、主婦) 3 女 (58 歳) は車で 3 時間程度離れた別の町に住んでいる。次女 (62 歳) は車で 30 分程度の隣町に居住している。 次女家族は夫 (67 歳)、長女 (32 歳、会社員) 次女 (28 歳、会社員) の 4 人で暮らしている。 次女の連絡先 (携帯) 000 - 0000 - 0000		
2	これまでの生活と現在の状況	5 人兄弟の長男として現住所に生まれる。小学校卒業後より実家の農業を営み結婚後は 3 人の子どもを育てながら妻と一緒に農業を続けていた。近所の人との交流も活発で人と話すことが好きで、温厚で人当たりのいい人という近所の評判であった。 68 歳の時に妻が病死、以後一人暮らし。家事や身の回りのことは一人で行い、畑に自分で作れるだけの野菜を作り、米作りを次女夫婦に手伝ってもらいながら毎日を過ごしていた。家事面では 1 年前からは調理などがおっくうとなり、次女が週に 2~3 回来て、煮物を作ったり、買い物をするなどしていた。次女は同居を考えたが、「田畑の管理をしないといけいないので、ここを離れるわけにはいかない」との父親の希望があり、見守ることにしていた。 令和 5 年 9 月 20 日に自宅玄関で転倒し硬膜下血腫発症。現在リハビリ目的にて入院継続中で、4 か月間の入院生活を送っている。病院では自分でトイレに行きたくてもポータブルトイレの使用になるなど、様々なことを禁止され、本人はケア提供者に対して不満を持ち、退院を強く望んでいる。		
3	利用者の社会保障制度の利用情報	医療保険：後期高齢者医療保険 障害手帳の有無：なし 生活保護：なし その他の社会保障制度等：なし 年金：国民年金、貯金あり。特に経済状況は問題ない。		
4	現在利用している支援や社会資源の状況	特になし		
5	日常生活自立度 (障害)	B1 (※ケアマネも同じ判断)	判定年月日：令和 5 年 11 月 ○日 判定者氏名：B 病院 E 医師	
6	日常生活自立度 (認知症)	自立 (※E 医師はⅡb)	判定年月日：令和 6 年 1 月 ○日 判定者氏名：A ケアマネ	
7	本人、家族等の主訴・意向	本人：住み慣れた自宅で、できるだけ人の世話にならず自分のことは自分で行って生活したい。特にトイレは、人に世話にならず自宅のトイレでしたい。とにかく早く家に帰りたい 次女：高齢の父を一人にしておけないので、自宅と実家を行き来しながらできるだけ介護を続けたい。90歳の父親の今後のことを考えると不安があるが、うまくサービスを利用しながら父親の希望する自宅での生活を支えていってあげたい。ボランティア活動は続けていきたい。(地域で行っている集まりの世話役。日時は調整可能)		

8	認定情報	要介護区分：要介護 3 認定期間：令和 5 年 11 月 2 日～令和 6 年 11 月 30 日
9	今回のアセスメントの理由	初回・更新・区分変更・サービスの変更・退院・退所 入所・その他の生活状況の変化・居宅介護支援事業所の変更等

【課題分析（アセスメント）に関する項目】

10	健康状態	【既往歴】なし 【現病歴】硬膜下血腫（R5.9.20） 【症状、痛み等】なし 【主治医及びその他の医療】B 病院 E 医師（病院までは車で 15 分程度） 【医師よりの医療情報・治療方針】血腫 300 cc 除去、病状経過は順調。 【受診の状況】退院後は 3 ヶ月に 1 度、経過観察のため通院受診の予定。 【血圧】問題ない 【薬情報】なし 【服薬状況】なし 【自身の疾患理解について】今回の受傷について理解しており、転倒は注意したいと思っている。 身長：165 cm 体重：56 kg BMI：20.7
11	本人の ADL	寝返り：手すりを使用して寝返りしている。 起き上がり：手すりを使用して起き上がっている。 座位保持：時間、姿勢に問題なく自立。 立位保持：手すりを使用して 3～4 分の立位が保てる。 立ち上がり：手すりを使用して立ち上がる。 移乗：見守りや手をそえるなど、軽く一部介助を受けている。 移動方法：主には車いすを自走。屋外は車いすで全介助の移動指示だが、外出はしていない。 歩行：病院内はシルバーカーを用いて 10m 程度見守りのもと、たまに歩く。 階段昇降：エレベーター使用し、階段昇降はしていない。 食事：箸使用にて自分で食べている。 水分摂取：食事の時やりハビリ終了後には自分から要求、準備の介助を受けて 1200ml ほど飲んでいく。 整容：セッティング介助をうけて時間をかけて自分でおこなう。 更衣：準備をしていれば袖、裾通しでき、その他は介助を受けている。 入浴：週 2 回、全介助で入浴している。 排泄動作：ポータブルトイレへの移乗を介助、スポン等の上げ下ろし介助をうけている。 服薬：なし
12	本人の IADL	調理：病院による調理。自宅では次女が 2 日分調理して作り置き。ガスや電子レンジ等で温めるなどはしていた。 掃除、洗濯：入院前は自分でやっていた。 買い物：次女が行なっている。 服薬管理：していない。 金銭管理：自分で管理している。 電話の利用：入院前は娘に電話をかけていた。 交通機関の利用：使っていない。 車の運転等：運転はしていない。次女の車に同乗で病院に行く程度。
13	認知機能や判断能力	理解力や記憶力など特に問題はない。 病院内ではスタッフに対して怒りをぶつけ「帰る」「トイレに自分で行く」と大声をあげたり、指示に従わないことが毎日ある。
14	コミュニケーションにおける理解と表出の状況	意思の伝達や内容の理解は問題ない。電話で話もできる。 視力：新聞記事などの小さな文字は見えにくい、テレビを見るには問題ない 聴力：小さな声は聞こえにくい、特に日常会話には差し支えない

15	生活リズム	入院中。リハビリ訓練は午前と午後に 30 分ずつ受けている。その他は、テレビを見たり、同室の人と話をして過ごす。部屋から離れるのは、リハビリ訓練、食事、入浴、その他気が向いた時となっている。良眠できている。
16	排泄の状況	ベッド横のポータブルトイレで日中、夜間ともに排泄している。布パンツで失禁もなし。排便は日に 1 回で、排便後のふき取りも自分で行なう。
17	清潔保持に関する状況	病室の洗面前のイスに座って歯磨きや洗面を行う。自宅では浴室の脱衣場の洗面で行っていた。入浴は自宅では次女が来た昼間の時間に入っていた。
18	口腔内の状況	上下とも総義歯。毎食後に自分で義歯を取り出して洗う。夜は洗浄消毒液につけている。家ではキッチンの流しで行っていた。
19	食事摂取の状況	普通食で箸を使って自分で食べる。入院前は献立も次女が考えて調理をしてくれていた。朝はご飯とみそ汁。昼、夕はお茶碗 1 杯のご飯と、おかず 1~2 品で食べる。カツオの刺身が好物。煮物は食べるが生野菜は嫌い。水分はお茶を自分で入れて飲んでた。食べ物のアレルギーなし。
20	社会とのかかわり	昔から住んでいる田園地区の集落で地域住民や農業仲間との交流もあった。近所の人も 80 歳以上高齢の人が多く、外に出ることが少なくなっており、太郎さんが近所の家に話をしに行っていた。 次女の夫に農業を手伝ってもらいながら、自分が作れるだけの野菜も作っていた。
21	家族等の状況	次女は週に 2~3 回、買い物や家事等を助けてくれる。月 4 回程度で曜日は決まっていなかったが、地域でボランティア活動を行っている。次女の夫は定年退職後で自由な時間があり、父親への介護に対しても理解があり、協力したいと考えている。次女の 2 人の娘は仕事もしており、母親が介護にあたることについては理解を持っている。
22	居住環境	洋間 居室 (洋間) 和室 キッチン テーブル (土間) 玄関 (土間) 和室 洗濯機 敷地内はコンクリート敷になっている。 トイレ 浴室 15cm の階段が 2 段ある 庭 県道 ▲ : 段差 60cm ▲ (ハatched) : 段差 30cm ▲ (small) : 段差 15cm

		福祉太郎さんの住居地域は、町役場、スーパーのある町の中心地より車で15分程度離れており、国道より1km位南に入っている場所で、昔より住んでいる住民の集落近隣の交流の盛んな田園地区の集落である。周囲には家が数件建ち並んでいるが、隣家までは10mほどの距離がある。田畑が多く、通行量（車・人）も少ない。静かな環境。福祉家の田は自宅から300m程度離れたところにある。 古い日本家屋（一軒家）で、土間（玄関、台所）と居室等段差が60cmある。トイレと浴室は玄関より10mほど離れた屋外にあり、トイレは洋式で手すりも付いている。浴室に手すりを付けており、床から浴槽までの高さは60cmほどある。入りやすく、洗いやすいようにイスを設置。脱衣場にもイスが置いてある。地域のゴミ置き場は隣家との間にあり。
23	その他留意すべき事項・状況	特になし

主な日課	本人（入院前） 6 7 8 10 12 14 16 17 18 20 22 24 0 2 4 □ △ 起 朝 畑仕事 昼 畑仕事 ☆ テ 夕 就 寝 床 食 食 食 入 浴 ビ 食 寝 主介護者（次女）（入院前） 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 0 2 4 □ 家 △ 家 畑 昼 ボランティア活動（月4回程度） △ ☆ 就 寝 起 事 朝 事 食 父親の買い物、介助等 夕 入 寝 床 食 食 （週2～3回） 食 浴													
	生活歴 0 13 23 25 28 32 68 90歳 出生 農業に従事 結婚 第一子出生 第二子出生 第三子出生 妻が病死、一人暮らし 転倒にて硬膜下血腫手術・入院													
エコマップ	入院前：週2-3回家事援助 退院後：ボランティア活動と両立しながら支えていきたい 【例】 強いつながり 普通につながり つながりがない 否定的なつながり *つながりの強さについては、状況に合わせて追加設定可能。 ※発病後は交流がとぎれている													